



# 最新ラジオ新語集

<b>[L]</b>	<b>Musical tab</b> 簡単な音楽放送
<b>Lot</b> 放送局	<b>MBS (Mutual Broadcasting System)</b> 米放送局の一つ
<b>Loran</b> 長距離飛行に使うラジオ誘導装置	<b>MBU</b> 移動放送班 (Mobile Broadcast Unit)
<b>Lookers-in</b> テレビジョン観取者	<b>MikeFright</b> マイクの前で上つてしまへられぬ人
<b>Listener-in</b> ラジオ観取者	<b>[N]</b>
<b>Low-down</b> 嵐相	<b>Newscast</b> ニュース放送
<b>[M]</b>	<b>Newscaster</b> ニュース放送アナウンサー
<b>Main-eventer</b> プログラム内の重要出演者	<b>Nowy</b> ニュースとして面白い
<b>Mata</b> マチネー	<b>Nigger</b> 検波用鑽石
<b>Megger</b> 監音	<b>Nixed</b> 禁止される
<b>Moller, melo,</b> メロドラマ	<b>Nobby</b> 流行のトーカー
<b>Merry-go-round</b> 劇の契約を延長すること	<b>Noisiola</b> 大型電氣管音機
<b>Mike</b> マイクロフォン	<b>Nom de bloomer</b> ベンキーム
<b>Mike biz</b> ラジオ放送劇	<b>Nubbin killer</b> 雷
<b>Mike Nugger</b> 昂奮している放送者	<b>[O]</b>
<b>Mike name</b> 有名な放送者	<b>Odd ments</b> いろいろを集めたプログラム
<b>Mike racket</b> スポーツの状況放送	<b>Off the record</b> 未発表の
<b>Mikester,</b> 名のあるアナウンサー	<b>Old folks</b> サークス
<b>Miketivity</b> ラジオ放送	
<b>Motor-gen</b> 電動式発電機	
<b>Mushmouth</b> 言葉のはつきりしない放送者	

いものとする。もし相當遠つている箇所があれば、導通試験で発見出来なかつた故障と考へてもう一度絶密に調べなければならぬ。

例えば、B電圧が非常に低い場合には、平滑コンデンサリの絶縁不良、または容量不足、電源トランスのB巻線の絶縁不良、その他B回路の絶縁不良などである。

プレート電圧を測る場合、出力管よりも検波管、検波管よりも高周波増幅管と前段に進むに従つて、スピーカーからのグリッド音が大きくなるのが普通である。従つてこの反対または変化がなければ、その部分の負荷抵抗、結合コンデンサリの不良、または真空管の不良を見落していた場合など

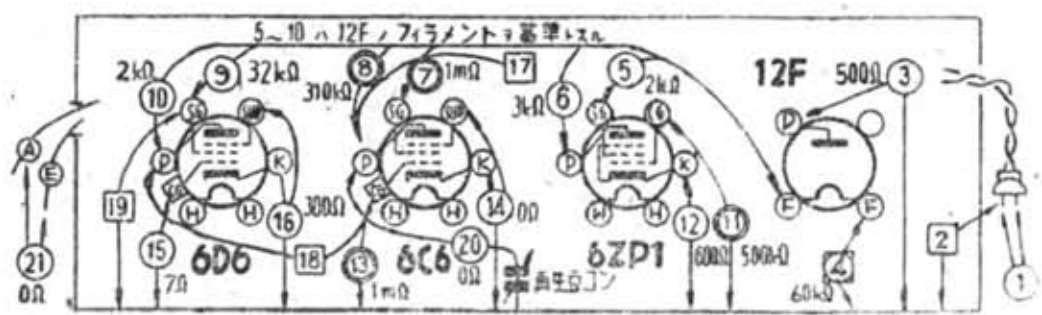
である。

6D6のバイパス電圧を測定するときには、可変抵抗を廻轉して、電圧が二一五Vに變化すればよい。もし電圧またはその變化がほごんごない場合は、バイパスコンデンサリのメンク、プレート回路の断線などであり、反対に電圧が極めて高い時は、可変抵抗の断線と見てよい。

6C6のプレート電圧及びスクリーニングリッド電圧を測定する場合、これらの回路には高抵抗が含まれているので、アスタールでは實際の電圧よりも約半分の程度値であることも念のため申添えておく。

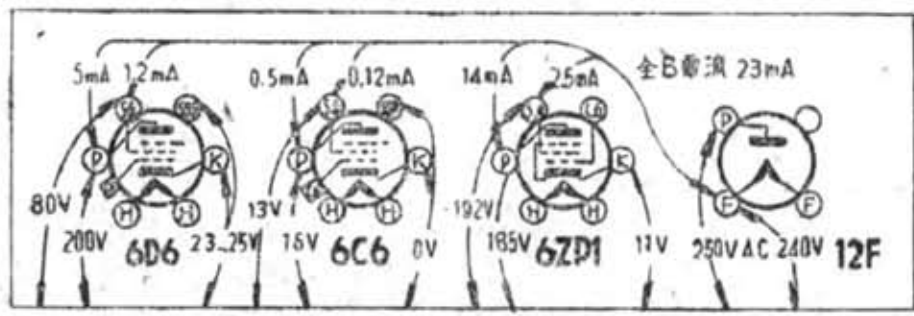
なお前述のごとく高抵抗の導通試験のうちB電圧のかかるもの(例えば6C6のスクリーニングリッド回路)は、その電圧を測定することによつて判るが、グリッドリークのごときものは次のようにして調べれば簡單でよい。

第五圖に示してあるように、(A)の場合にはアスタールの場合はアスタールの内部抵抗と直列に入つて、いわゆるポルターワイバイダーの作用をせしめ、メーターの振れによつて逆にR<sub>g</sub>を知る方法



第三圖 國民2号型導通試験圖

である。例えば五〇〇Vレンジ(1kΩ/V)のメーターがB電圧の半分の振れを示せば、R<sub>g</sub>は五〇〇kΩであり、その振れであればR<sub>g</sub>は1MΩといふことである。ただしこの方法では(A)の場合と違つて真空管をはすしておくことを忘れてはいけない。

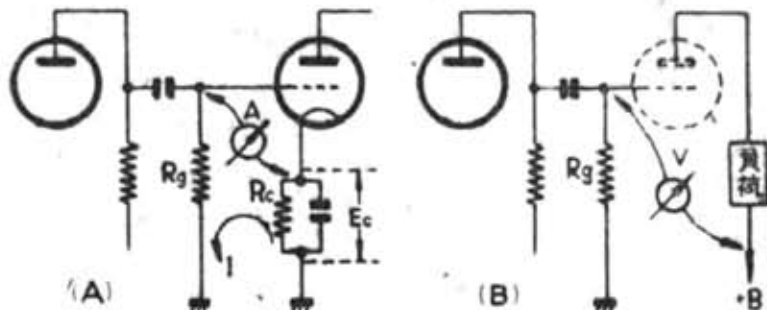


第四圖 國民2号型電柱電石電流圖

國民2號型 (修理台數304台)		
不 良 部 品	内 譯 (百分率%)	
平滑用ケミコン 6 $\mu$ F, 4 $\mu$ F, 250V (24.66%)	パ ン ク	2.30
	絶 縁 不 良	21.70
バイパス用ケミコン 20 $\mu$ F 25V (1.65%)	容 量 不 足	0.66
	絶 縁 不 良	1.32
ペーパー・コン デンサー (2.31%)	容 量 不 足	0.33
	0.1 $\mu$ F 絶縁不良	0.99
二連バリコン (7.59%)	// 内部断線	0.33
	0.005 $\mu$ F 絶縁不良	0.66
抵 抗 器	250 $\mu$ F //	0.33
	破 損	0.33
平滑用抵抗は焼 損によるもの、 他は断線 (22.67%)	シ ョ ー ト	6.60
	トリマーのショート	0.33
可 変 抵 抗 器	回 轉 不 良	0.33
	6C6プレート用 (250K $\Omega$ )	7.56
アンテナ用コイル (6.92%)	// 遮蔽グリッド用 (1M $\Omega$ )	10.50
	// デカップリング (30K $\Omega$ )	0.99
検波用コイル (2.30%)	6D6遮蔽グリッド 用 (40K $\Omega$ )	0.66
	グリッド・リー ク用 (1M $\Omega$ )	0.66
フ ェ ー ズ	平 滑 用 (2K $\Omega$ , 3K $\Omega$ )	2.30
	接 觸 不 良 (10K $\Omega$ )	1.32
パイロットランプ (17.78%)	断 線	1.93
	一 次 側 焼 損	4.94
マ グ ネ チ ッ ク スピーカ (8.06%)	一 次 側 断 線	1.64
	Q 低 下 (再生感度不良)	0.66
電源スイッチ (1.98%)	熔 断	10.20
	断 線	6.90
電源トランス (1.65%)	絶 縁 不 良	0.99
	破 損	13.50
真空管 (ショート、断線、感度不 良、雑音発生)	接 觸 不 良	3.29
	ア マ チ ュ ア ー 偏 心	6.08
ダイヤル機構 (4.28%)	破 損	0.66
	音 質 不 良	0.66
キャビネット ツ マ ミ	感 度 不 良	0.66
	接 觸 不 良	0.66
ツ マ ミ	破 損	1.32
	焼 損	0.99
ツ マ ミ	絶 縁 不 良	0.66
	破 損	3.34

第1表 國民2號型受信機における  
部分品の故障率を示す。

なお第一圖の回路の  
ように電源トランスに  
スタティックシールド  
を施すことも、外來雑  
音、モテアレーシヨ  
ハムの防止に役立つ  
のである。  
内部雑音としては次  
のような原因による  
のである。  
(A)配線の切れか  
りやハンダづけ不良  
(B)抵抗、コイルな



第五圖 高抵抗値簡易測定法

この種の受信機では、この受信機にアンテナ、アイ  
スの接続して放送を聞いて行うか、もしテ  
ストオシシレーターがあればそれを用いて  
行うのであるが、いずれにしても電源電圧  
などの諸条件を正規の状態に保つておくこ  
とが肝要である。

さて試験の最初に検波管のグリッドに手  
を觸れてみて、スピーカーからブグま  
たはクギヤキ音が出れば、検波管以降の  
低周波回路はまず完全に動作していること  
見て差支えない。もしも、この音が小さい  
か、出ないときには、スピーカーの感度不  
良か、結合コンデンサーの絶縁不良などで  
あるから、もう一度導通試験、電圧試験を  
やりなおす必要がある。

次に高周波回路の試験として、6D6の  
グリッドをドライバーなどでコツコツ叩い  
てみて、クギヤキ音が出て、さら  
にアンテナ端子でも同じくクギヤキ音とい  
えば他の試験が完全に出来ているかぎり、  
この受信機は九分どおり動作するものと考  
えてよい。

この動作試験  
によつて放送が  
満足に聴取出来  
ればよいが、ハ  
ムや雑音が出た  
り、甚だしく音  
質が悪かつた  
り、分離が悪い  
ようであれば、  
さらに修理する  
必要がある。次  
にその故障の状態を分類して、修理法を述  
べよう。

一、雑音が出る場合  
まず雑音が受信機内部に起因するもの  
か、外部からのものを区別するために、  
アンテナおよびアースをはずして、止  
れば受信機以外の妨害であり、依然として  
出るようならば内部雑音である。  
外來雑音は止るものと止らないものがあ  
るが、次のようにやつて見るとある程度止  
まるのであるが、もし止らなければ雑音を  
発生する機器のほうで設置しなければなら  
ない。  
(A)電源トランスの一次側の隔端から  
○1/16程度のコンデンサーでアースす  
る。  
(B)さらに電源のライン側に高周波チ  
ョークを直列に入れる。

### コテ台

ラジオの作業をしている部屋  
をみると、よく電氣ゴテを、そ  
のまま机の上にころがしたり、  
床の上に置き放している人が多  
い。火傷をしたり、電線や器具  
を焼きこがすことがあるが、作  
業機の横にブリキを圍の  
ように作り、木ネジ  
を傷つける事もない。